



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月25日 配当支払開始予定日 2022年3月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期の連結業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	48,474	17.7	2,453	73.2	2,706	64.5	2,595	148.5
2020年12月期	41,179	△10.9	1,416	1.5	1,645	23.3	1,044	16.0

（注）包括利益 2021年12月期 4,555百万円（312.0%） 2020年12月期 1,105百万円（62.6%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	164.82	—	11.3	5.0	5.1
2020年12月期	66.40	—	5.1	3.0	3.4

（参考）持分法投資損益 2021年12月期 27百万円 2020年12月期 27百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	54,533	27,323	45.9	1,589.37
2020年12月期	53,175	23,166	39.5	1,335.60

（参考）自己資本 2021年12月期 25,051百万円 2020年12月期 21,019百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	4,722	△994	△5,024	6,373
2020年12月期	6,479	△1,549	△3,626	7,190

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	4.00	—	6.00	10.00	159	15.1	0.8
2021年12月期	—	8.00	—	14.00	22.00	351	13.3	1.4
2022年12月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00		28.9	

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	48,500	—	2,100	—	2,300	△15.0	1,200	△53.8
							百万円	円 銭
							△53.8	76.13

（注）2022年12月期期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した金額となっており、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	17,710,000株	2020年12月期	17,710,000株
2021年12月期	1,948,421株	2020年12月期	1,972,260株
2021年12月期	15,749,890株	2020年12月期	15,729,202株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	25,272	17.3	622	—	1,505	294.9	1,283	162.0
2020年12月期	21,536	△8.2	△214	—	381	△82.4	490	△73.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	81.52	—
2020年12月期	31.16	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	37,006	14,529	39.3	921.82
2020年12月期	38,116	13,178	34.6	837.38

(参考) 自己資本 2021年12月期 14,529百万円 2020年12月期 13,178百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

#### ①当期の経営成績

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）におけるわが国経済は、変異株の出現により新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言実施期間が長期間におよび、経済活動が制限される状況が継続しましたが、ワクチン接種が進み個人消費の改善など持ち直しの動きが見られました。また、世界各国の経済は新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだ事などから持ち直しの動きがみられた地域がある一方、コロナ禍が再拡大した地域もあり、年末には新たな変異株の感染が確認されるなど国内外ともに依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、永続的成長に向けて2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの経営軸（「Innovation」「Efficiency」「Sustainability」）のもと、激変する経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる

価値を提供する事業に注力することで、着実に成長を遂げる真に強い企業集団へと生まれ変わるため、新たな5か年中期経営計画『INNOVATION25』（2021-2025）を掲げ、5つの全社基本戦略（「事業構造の大転換」「生産性改革」「財務基盤の強化」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」）に取り組んでおります。

この結果、売上高48,474百万円（前連結会計年度比17.7%増）、営業利益2,453百万円（同73.2%増）、経常利益2,706百万円（同64.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,595百万円（同148.5%増）となりました。

#### セグメント別業績の概況

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### 【化学品事業】

化学品事業には、当社グループの主力となる繊維加工用薬剤の他に情報記録紙用薬剤、樹脂原料、業務用クリーニング薬剤、医療・介護施設向け薬剤及びその他機能性化学品が含まれております。

売上高は33,773百万円（前年同期比18.5%増）、セグメント利益は1,460百万円（同73.4%増）となりました。

コロナ禍の影響が継続しているものの、一般的に流通在庫の積み上げ等による需要回復が見られるとともに、特殊樹脂モノマー、環境衛生関連薬剤やフッ素化成品が堅調に推移しました。また、円安の影響もあり売上高は増加しました。

一方、経済活動の回復、需給バランスの影響により下期に原料価格が大きく上昇しましたが、昨年から実施している経費抑制の継続、一昨年実施した設備投資の減価償却費減少により、セグメント利益は増加しました。

#### 【化粧品事業】

化粧品事業はヘアケア剤、ヘアカラー剤、パーマ剤、スキャルプケア剤及びスタイリング剤が主な取扱品であります。

売上高は14,087百万円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益は2,794百万円（同24.2%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいては、長期にわたる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施による市況悪化の影響を受けたものの、主力ヘアケアブランドの拡販等により堅調に推移いたしました。また連結子会社においては、山田製薬株式会社は大口受託案件の受注増に加えて新規顧客の獲得増により続伸し、DEMI KOREA CO., LTD. における販売も好調に推移いたしました。その結果、化粧品セグメント全体では売上高及びセグメント利益ともに増加しました。

#### 【その他事業】

売上高は612百万円（前年同期比21.0%増）、セグメント利益は72百万円（同67.9%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,358百万円増加し54,533百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が448百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が591百万円、商品及び製品が671百万円及び原材料及び貯蔵品が700百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2,799百万円減少し27,209百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1,293百万円増加した一方、借入金が4,600百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、4,157百万円増加し27,323百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が2,375百万円及び為替換算調整勘定が1,310百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー4,722百万円の獲得、投資活動によるキャッシュ・フロー994百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フロー5,024百万円の支出により、前連結会計年度に比べ、816百万円減少し、6,373百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは4,722百万円となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益3,461百万円、減価償却費2,500百万円、仕入債務の増加額998百万円等の収入と、たな卸資産の増加額977百万円及び法人税等の支払額724百万円等の支出によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは994百万円となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入989百万円、有形固定資産の売却による収入818百万円及び投資有価証券の売却による収入212百万円等の収入と、定期預金の預入による支出1,466百万円、有形固定資産の取得による支出1,443百万円等の支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは5,024百万円となりました。

これは主に、借入の返済による支出（純額）4,575百万円、配当金の支払418百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率 (%)	34.3	35.6	36.7	39.5	45.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	41.9	30.4	29.3	39.3	27.1
債務償還年数 (年)	3.9	6.6	19.3	2.5	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	57.2	40.0	14.8	99.0	105.8

※各指標は下記の基礎で算出しております。

自己資本比率 : 株主資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額（期末株価終値×期末発行済株式数）／総資産  
 債務償還年数 : 有利子負債（社債、短期・長期借入金）／営業キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い（支払利息）

#### （4）今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済影響が依然不透明な事に加え、国際情勢、気候変動対策・環境政策、金融資本市場の変動、原油価格の高騰など引き続き注視が必要な状況です。

また、ニューノーマルが浸透し、超スマート社会、DX・働き方改革が加速する中で、新しい付加価値の創出が期待されています。

このような中、当社グループは、2025年度を最終年度とする中期経営計画「INNOVATION25」（2021～2025年）を策定し、不確実性の高い経営環境でも着実に成長するため、「事業構造の大転換」「生産性改革」「財務基盤の強化」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の5つの全社基本戦略の取組みを進めているところであります。

2022年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高48,500百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を予想しております。

2022年12月期の想定為替レートにつきましては、直近の傾向や金融資本市場の動向に基づき、1米ドル110円を前提としております。

なお、新型コロナウイルスによる不確定要素が事業活動に影響を及ぼす可能性があることから、算定が困難である中間期の業績予想は行わず通期予想のみとしております。

#### （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期配当

界面活性剤工業は、あらゆる産業に関連を持ち各産業の技術革新に貢献しており、新技術の開発が業容の拡大に欠かせない要素であります。当社におきましても、界面活性剤の製造販売を行う上で新技術の開発は最も重要な課題であり、積極的な設備投資及び研究開発投資は競争力を維持・強化し業績を向上させる上で不可欠であります。このため、内部留保に意を用いながら将来的な株主価値の向上を目指していくとともに、安定的な配当を行うことを基本としております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としており、これらの剰余金の配当の決定機関は中間配当については取締役会、期末配当については株主総会であります。

2021年12月期の中間配当につきましては、1株当たり8円の普通配当を実施いたしました。また期末配当金につきましては、1株当たり14円（普通配当14円）の配当を行う予定であります。これにより、当事業年度の年間配当につきましては、1株当たり22円（普通配当22円）となる予定であります。

2022年12月期の配当につきましては、1株当たり年間配当22円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,962	7,659
受取手形及び売掛金	9,026	9,618
商品及び製品	4,224	4,895
仕掛品	735	669
原材料及び貯蔵品	3,066	3,766
その他	963	952
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	25,977	27,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,054	26,509
減価償却累計額	△12,447	△13,225
建物及び構築物 (純額)	13,607	13,283
機械装置及び運搬具	19,001	19,901
減価償却累計額	△14,968	△16,314
機械装置及び運搬具 (純額)	4,033	3,587
工具、器具及び備品	3,691	3,914
減価償却累計額	△3,165	△3,314
工具、器具及び備品 (純額)	526	599
土地	5,261	5,247
リース資産	343	339
減価償却累計額	△127	△172
リース資産 (純額)	216	167
建設仮勘定	81	392
有形固定資産合計	23,726	23,277
無形固定資産		
その他	304	298
無形固定資産合計	304	298
投資その他の資産		
投資有価証券	1,457	1,706
出資金	2	2
差入保証金	375	356
繰延税金資産	951	980
その他	380	348
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,166	3,394
固定資産合計	27,197	26,970
資産合計	53,175	54,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,325	6,619
短期借入金	8,033	5,662
リース債務	50	48
未払金	1,471	1,539
未払法人税等	357	570
未払消費税等	515	142
賞与引当金	556	772
役員賞与引当金	—	35
その他	1,051	1,312
流動負債合計	17,361	16,702
固定負債		
長期借入金	8,267	6,038
リース債務	144	96
長期未払金	39	39
退職給付に係る負債	3,223	3,298
株式報酬引当金	75	115
長期預り金	852	875
その他	44	42
固定負債合計	12,647	10,506
負債合計	30,009	27,209
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,928	2,928
利益剰余金	16,909	19,284
自己株式	△1,465	△1,444
株主資本合計	21,271	23,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365	632
為替換算調整勘定	△308	1,002
退職給付に係る調整累計額	△309	△251
その他の包括利益累計額合計	△251	1,383
非支配株主持分	2,146	2,272
純資産合計	23,166	27,323
負債純資産合計	53,175	54,533

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	41,179	48,474
売上原価	27,410	32,431
売上総利益	13,768	16,043
販売費及び一般管理費	12,352	13,589
営業利益	1,416	2,453
営業外収益		
受取利息	36	43
受取配当金	32	29
持分法による投資利益	27	27
為替差益	—	109
雇用調整助成金	191	—
債務免除益	—	64
雑収入	246	211
営業外収益合計	535	485
営業外費用		
支払利息	65	43
為替差損	74	—
売上割引	79	79
雑損失	86	109
営業外費用合計	305	232
経常利益	1,645	2,706
特別利益		
固定資産売却益	6	607
投資有価証券売却益	10	116
補助金収入	133	—
受取補償金	—	92
特別利益合計	150	816
特別損失		
固定資産除却損	21	10
固定資産売却損	2	0
投資有価証券売却損	0	33
投資有価証券評価損	1	18
特別損失合計	25	61
税金等調整前当期純利益	1,770	3,461
法人税、住民税及び事業税	555	906
法人税等調整額	45	△168
法人税等合計	600	738
当期純利益	1,170	2,723
非支配株主に帰属する当期純利益	125	127
親会社株主に帰属する当期純利益	1,044	2,595

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	1,170	2,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	266
為替換算調整勘定	△120	1,507
退職給付に係る調整額	76	57
その他の包括利益合計	△64	1,831
包括利益	1,105	4,555
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,015	4,231
非支配株主に係る包括利益	90	324

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,898	2,928	16,058	△1,481	20,404
当期変動額					
剰余金の配当			△193		△193
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,044		1,044
自己株式の取得					
自己株式の処分				16	16
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	850	16	866
当期末残高	2,898	2,928	16,909	△1,465	21,271

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	386	△223	△385	△223	2,233	22,414
当期変動額						
剰余金の配当						△193
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,044
自己株式の取得						
自己株式の処分						16
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△20	△84	76	△28	△86	△115
当期変動額合計	△20	△84	76	△28	△86	751
当期末残高	365	△308	△309	△251	2,146	23,166

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,898	2,928	16,909	△1,465	21,271
当期変動額					
剰余金の配当			△220		△220
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,595		2,595
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		21	21
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	－	0	2,375	20	2,396
当期末残高	2,898	2,928	19,284	△1,444	23,667

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	365	△308	△309	△251	2,146	23,166
当期変動額						
剰余金の配当						△220
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,595
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						21
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	266	1,310	57	1,635	126	1,761
当期変動額合計	266	1,310	57	1,635	126	4,157
当期末残高	632	1,002	△251	1,383	2,272	27,323

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,770	3,461
減価償却費	2,768	2,500
のれん償却額	2	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	149	128
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	2	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△165	216
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
受取利息及び受取配当金	△69	△72
支払利息	65	43
為替差損益 (△は益)	6	12
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△27
固定資産処分損益 (△は益)	17	△596
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△83
債務免除益	—	△64
受取補償金	—	△92
補助金収入	△133	—
売上債権の増減額 (△は増加)	759	△115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	905	△977
仕入債務の増減額 (△は減少)	357	998
未払消費税等の増減額 (△は減少)	448	△384
その他	△17	254
小計	6,829	5,293
利息及び配当金の受取額	118	105
利息の支払額	△65	△44
法人税等の支払額	△402	△724
補償金の受取額	—	92
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,479	4,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△904	△1,466
定期預金の払戻による収入	509	989
有形固定資産の取得による支出	△1,334	△1,443
有形固定資産の売却による収入	81	818
投資有価証券の取得による支出	△21	△17
投資有価証券の売却による収入	21	212
補助金の受取額	133	—
その他	△34	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,549	△994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	77,933	86,822
短期借入金の返済による支出	△80,102	△88,940
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△50	△50
長期借入れによる収入	1,563	—
長期借入金の返済による支出	△2,616	△2,458
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△44	—
配当金の支払額	△188	△220
非支配株主への配当金の支払額	△137	△198
自己株式の売却による収入	16	21
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,626	△5,024
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	479
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,258	△816
現金及び現金同等物の期首残高	5,931	7,190
現金及び現金同等物の期末残高	7,190	6,373

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別に化学品部門と化粧品部門を置き、各部門は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「化学品事業」及び「化粧品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は、繊維化学品、特殊化学品、クリーニング・メディカル用薬剤、機能化学品、先端材料の生産・販売を行っており、「化粧品事業」は、ヘアケア剤、ヘアカラー剤、パーマ剤、スキャルプケア剤及びスタイリング剤の生産・販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,496	12,175	40,672	506	41,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	178	178
計	28,496	12,175	40,672	684	41,357
セグメント利益	842	2,250	3,093	43	3,136
セグメント資産	38,923	10,870	49,793	558	50,352
その他の項目					
減価償却費	2,192	487	2,680	0	2,681
持分法適用会社への投資額	203	—	203	—	203
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	914	480	1,395	40	1,435

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,773	14,087	47,861	612	48,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	30	265	296
計	33,773	14,118	47,892	878	48,771
セグメント利益	1,460	2,794	4,255	72	4,327
セグメント資産	40,633	10,821	51,455	823	52,278
その他の項目					
減価償却費	1,916	500	2,416	0	2,417
持分法適用会社への投資額	198	—	198	—	198
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,093	257	1,351	1	1,352

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	40,672	47,892
「その他」の区分の売上高	684	878
セグメント間取引消去	△178	△296
連結財務諸表の売上高	41,179	48,474

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,093	4,255
「その他」の区分の利益	43	72
セグメント間取引消去	15	△20
全社費用（注）	△1,735	△1,853
連結財務諸表の営業利益	1,416	2,453

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	49,793	51,455
「その他」の区分の資産	558	823
セグメント間取引消去	△412	△420
全社資産（注）	3,235	2,675
連結財務諸表の資産合計	53,175	54,533

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であります。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	2,680	2,416	0	0	87	83	2,768	2,500
有形固定資産及び無形固定資産の増加額（注）	1,395	1,351	40	1	25	338	1,461	1,691

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社資産の設備投資額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	化学品	化粧品	その他	合計
外部顧客への売上高	28,496	12,175	506	41,179

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	その他アジア	北中米	その他	合計
22,510	5,533	11,412	1,110	611	41,179

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	台湾	韓国	その他アジア	北米	合計
17,338	2,473	2,132	1,443	338	23,726

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	化学品	化粧品	その他	合計
外部顧客への売上高	33,773	14,087	612	48,474

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	韓国	その他アジア	北中米	その他	合計
26,296	6,954	4,848	8,718	1,363	291	48,474

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	台湾	韓国	その他アジア	北米	合計
16,690	2,668	1,919	1,654	345	23,277

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	当期償却額	当期末残高
のれん	2	—

（注）のれんは事業セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	1,335.60円	1,589.37円
1株当たり当期純利益	66.40円	164.82円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,044	2,595
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,044	2,595
期中平均株式数(千株)	15,729	15,749

3. 役員向け株式交付信託が保有する当社株式を「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度247千株、当連結会計年度223千株)。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度255千株、当連結会計年度234千株)。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。